

令和2年度 西多摩地域保健医療協議会「保健福祉部会」 会議録

1 開催方法 書面開催

※令和3年2月18日（木曜日）に委員宛資料を送付し、意見書の提出をもって出席とした。

2 西多摩地域保健医療協議会「保健福祉部会」委員

氏名	役職名	備考
江本 浩	一般社団法人西多摩医師会副会長	
加藤 裕正	一般社団法人東京都西多摩歯科医師会会長	
大友 建一郎	青梅市立総合病院院長	
松山 健	公立福生病院院長	
荒川 泰行	公立阿伎留医療センター院長	
室 愛子	医療法人財団岩尾会東京海道病院院長	
小山 洋一	公募委員	
柴田 昌志	青梅労働基準監督署長	
栗原 枝利子	東京訪問看護ステーション協議会第8ブロック会長 (指定訪問看護ステーションあきる台ケアサービス所長)	
後町 博信	西多摩地域産業保健センター (医療法人社団新町クリニック健診渉外課長)	専門委員
島田 美喜	社会福祉法人至誠学舎立川 至誠児童福祉研究所副所長	
倉田 克治	社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会会長	
古山 博大	西多摩郡民生児童委員協議会会長	
浅見 加代子	精神障害者家族会FHMの会代表	
川杉 稔	あきる野市立東中学校長	
齋藤 剛一	青梅市健康福祉部長	
川久保 明	あきる野市健康福祉部長	
佐伯 秀人	日の出町いきいき健康課長	
播磨 あかね	西多摩保健所長	
	合計 19名	

(敬称略)

3 欠席委員

なし

4 次 第

(1) 議 事

西多摩保健医療圏地域保健医療推進プランの中間評価について

(2) 報告事項

5 意見のとりまとめについて

意見書は、「事務局に一任」又は意見を記載していただく形式としており、全ての委員の方から意見書を提出いただき、議決事項は承認された。

(とりまとめ結果は別紙のとおり)

別紙 令和2年度西多摩地域保健医療協議会「保健福祉部会」 意見とりまとめ

提出委員	意見	事務局回答
<p>【議事】西多摩保健医療圏地域保健医療推進プランの中間評価について</p>		
<p>島田委員</p>	<p><がん対策について> 子宮頸がんと乳がんの受診率が年々下がっていることが気になります。実施医療機関の制約が理由とのことですが、受診したくても予約がとれないなどの現状があるようでしたら、周辺地域の医療機関も契約できるような圏域としての対応は可能でしょうか？</p> <p><母子保健福祉対策について> コロナ禍で家族が密になり、DVなど増加しているとの報道もされていますが、西多摩圏域ではそのような課題はいかがでしょうか。</p>	<p>定員を超過した市町村が毎年1～3自治体あり、受診率の減少につながっている可能性があります。医療機関の確保と共に予算の確保も課題となっています。 西多摩圏域は、医療機関が限られているため、契約医療機関等の情報については、毎年、各市町村と情報交換を行っています。実際、周辺地域の医療機関と検診を契約している自治体は複数あります。</p> <p>御質問を頂いたDVや児童虐待につきましては、市町村関係者とともに大変懸念しているところです。昨年5月の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言発出解除後、各自治体の会議において地域関係者から面前DVや児童虐待相談が散見されたとの意見もありました。 外出自粛や在宅勤務の増加、保育園や学校、乳幼児健診、育児グループなど外部との接触の機会の減少や保護者の経済的不安等による影響で、今後支援が必要な方々の増加も考えられます。現在、市町村が主となり相談窓口の周知や各機関との情報共有及び早期発見及び介入をしているところです。 保健所も心の相談や依存症等のご相談対応を行いつつ、関係機関と連携を取りながら住民のみなさまの地域生活支援に努めてまいります。</p>
<p>後町委員</p>	<p><1-1-2 がん対策について> 市町村がん検診受診率を上げる対策として、受診方法や受診の意義について、引き続き広報していくことも重要と考えますが、受診を希望しても予約が取れない、取りづらいという状況もあるかと思しますので、新たな委託先や予約枠の確保の交渉等を医療機関と行うことが重要かと考えます。</p>	<p>予約については、窓口、はがき、電子申請など、申込方法を工夫していますが、定員超過により抽選になる市町村が毎年1～3自治体あり、圏域の中でも受診率が低い傾向にあります。定員超過となった自治体の中には、少しずつ定員を増やしている自治体もありますが、逆に減らしてしまった自治体もあります。また、定員もなく、実施期間も長く、複数の医療機関で健診を実施していても受診率が減少してしまった自治体もあり、広報は非常に重要と考えています。 保健所は、毎年行っている圏域のがん対策事業実施状況調査により、各自治体の契約医療機関、定員、広報、申込方法、精密検査の状況等も含めて圏域内での情報共有を図っております。また、市町村との情報交換の中でも、がん検診事業の推進に資する支援を行っています。</p>
<p>事務局 まとめ</p>	<p>いただいた御意見については、今後の進行管理において参考とさせていただきます。</p>	

提出委員	意見	事務局回答
【その他全体を通して等】		
加藤委員	新型コロナの影響下で、推進プランの達成度がほとんどの項目でほぼ順調と出ているのは関係機関のご努力の賜物と思います。	今後とも関係機関と緊密に連携協力しながら、事業を推進していきます。
大友委員	コロナでお忙しいところ、ご苦勞様でした。	ありがとうございます。
松山委員	確認致しました。	ありがとうございます。 今後も御意見等ございましたら、事務局までお願いいたします。
小山委員	非常に大変な時ですが、がんばって下さい。	ありがとうございます。
倉田委員	特定健康診査が思いの外低いにおどろきました。又がん検診ももっと高いと思っていました。検診に行く人多勢いるのでびっくりです。	西多摩圏域の中でも特定健康診査やがん検診の種類ごとに市町村ごとに受診率の高低があります。また、医療機関に限られている中、各市町村とも工夫をこらし、効率よく健診事業を実施しております。新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は各市町村とも実施方法を模索した一年でした。保健所では、引き続き8市町村・保健所連絡会等により、各市町村のよい取組を共有できるようにしてまいります。
浅見委員	精神疾患関係の多課題を解決していただきたくコメントします。 ・共に生きる地域作り、自立を支援する基盤作りとして家族を包括的にとたえ、地域で安心して生活が続けられるように支援の質が落ちないように継続をして欲しい。 ・日中活動の充実として事業所利用の中断した人の調査をし、必要に応じての働き掛けをお願いします。	精神疾患をお持ちのご本人やその家族の生活支援も含め、誰もが安心して生活できる地域づくりについては、身近な自治体を中心に検討・実施されております。また、各種計画策定時には、住民のニーズを把握するため調査等を実施する工夫もされているところです。保健所においても、各市町村の自立支援協議会等へ参加しています。いただいた御意見を参考に、引き続き、これらの場を通して、よりよい地域づくりに努めて参ります。
齋藤委員	いつも大変お世話になっております。コロナ対応については、引き続き御指導の程、よろしくお願ひいたします。	こちらからよろしくお願ひいたします。
佐伯委員	新型コロナに関する保健所の対応について御意見をいただきました。	御意見ありがとうございます。今後も市町村からの御相談には個別に対応してまいります。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。